

アクティビティ STEP1-C4 ブロックゲーム SDGs理解と平和構築 ★★★★★

〈ねらい〉

ワークショップを通して、パートナーシップ・平和の構築の仕方を学ぶ。

〈授業で使用するもの〉

スライド、ワークシート、ミッションシート、カラーブロック

〈形式〉 1もしくは2つのグループに分かれワークショップを実施。

A~Dのグループごとに、4つの机の島を作る。(生徒の机4つ程度)

〈授業の準備〉

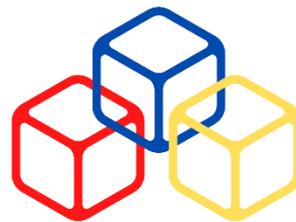
- ・チーム分け: 人グループを A~D の4つのチームに分ける。ひとチームは最大5人まで。
 - ※20人以上の学級は、クラスを半分の2つのグループ分け、それぞれ4つのチームに分ける。
- ・カラーブロックをグループ数分用意。カラー印刷・貼り付けをして用意をする。(1セット28本)
 - ※ 1枚で3ブロック作れます。A4 厚紙印刷セット 10枚印刷し、28ブロック作成(予備2)を作成
- ・ミッションカードをグループ数分印刷。両面印刷。
- ・振り返り用ワークシート印刷

〈授業の流れ〉

	時間	内容	使用する教材
はじめに	5分	今までもしくは今回の学習内容に触れ、今日取り組む内容へ期待値を上げる。	
ワークショップ ブロックゲーム	30分	①今から話ができなくなること、ミッションカードを他のチームに見せないことを確認し、配布する。 ②制限時間 90秒で1回目のゲームを開始。 ③90秒で難しかったことをチーム内で共有 ④180秒の作戦タイム。作戦タイムに入る前にスライドを見せ、2回目のゲームのルールをあらかじめ確認する。 ⑤2回目のゲームのルールを再度確認し、制限時間180秒でゲームを開始。 ⑥振り返りの実施 15分~20分 ※下記ブロックゲームの進め方参照。	スライド ミッションカード カラーブロック ワークシート
ブロックゲームのまとめ	10分	グループでの感想共有・発表	スライド

【ブロックゲーム 進め方、仕掛け】

制限時間内にそれぞれのチームがミッションを達成するべく、カラーブロックを移動させるゲームです。



教室設営:

グループ数毎に、各4つのチームの机の島が必要です。

グループの位置を確認し、混ざり合わないよう生徒と確認しあってください。

各チームの机の島の上に、カラーブロックを白い面を上にして、7個ずつ置く

ゲームの進め方:

- ①今から話ができなくなることを、ミッションカードを他のチームに見せないことを確認し、配布する。
各チームのミッション
A: 赤色の面を10個以上、上に向ける
B: 青色の面を10個以上、上に向ける
C: 黄色の面を10個以上、上に向ける
D: 赤・青・黄色それぞれの面を上にしたブロックを5個ずつ使い、1つの大きな円を作る。
- ②制限時間 90 秒で1回目のゲームを開始。
- ③90秒で難しかったことをチーム内で共有
- ④180秒の作戦タイム。作戦タイムに入る前にスライドを見せ、2回目のゲームのルールをあらかじめ確認する。

*3分間作戦タイムを取ります。

*この後、2回目のゲームを実施します。

*作戦タイムは誰とでも話すことができます。

2回目のゲームのルール確認

- ・ミッションは1回目と同じ
- ・誰とも話せない→誰とでも話せる
- ・制限時間90秒→180秒

- ⑤2回目のゲームのルールを再度確認し、制限時間180秒でゲームを開始。

⑥振り返りの実施

ゲームの達成度振り返り

- ・ミッションの達成具合の発表: 生徒から
- ・ミッション達成具合の確認: ミッションを確認(面を上にする)した後、先生が達成度をチェック
- ・先生が実演しながら、ゲームの意図を解説する。

ゲームの進め方の振り返り(問いかけ)

- ・1回目と2回目の行動では何が変わりましたか?
- ・(達成できなかったグループに)どうすれば全チームがミッションを達成できたと思いますか?
- ・(達成しているグループに)達成するために、どのようなことを工夫しましたか?
- ・このゲームで起きたことは、現実社会のどのような場面で起きていると思いますか?
- ・このワークで学んだことをどのように活かせると思いますか。

■ミッション達成具合の確認

・D チームのミッションである『赤・青・黄色それぞれの面を上にしたブロックを5個ずつ使い、1つの大きな円を作る。』を作ることで、D チームはミッションを達成し、A,B,C チームそれぞれミッションを半分達成することができます。

・残りの13個のカラーブロックをそのまま使うのでは、1つもしくは2つのチームがミッションを達成できないため、2つのカラーブロックを、立方体から、上面に2色並ぶよう平面につぶすことで、全チームのミッションを達成することができます。

■行動のポイントとゲームの意図

・10個以上とミッションカードにあるため、余分に取らねば達成することが難しくなります。

→第1回目の学習：資源や食糧の余剰と廃棄と結び付け、多く取り合ってどうするのか問いかける。

・D チームもしくはどこかのチームの島に集まり、共通のブロックという認識をもち、ミッションを達成に向け動くことが必要です。他のチームのミッションがわからないため、作戦会議の際に話し合うと達成しやすくなります。

→パートナーシップを築き、コミュニケーションをとりながら平和的な解決が重要であることを説明する。

・立方体をつぶさないと全チームが達成することができません。

→SDGsは、人間(社会)、豊かさ(経済)、地球(環境)の3つの側面のバランスを取り、パートナーシップによる平和の実現を目指しています。その中で、技術革新や技術を伝えることも掲げられており、このゲームでは新しい観点を持ち限界を突破することで全チームがミッションを達成できる仕掛けになっています。

〈スライドの解説〉



みなさんおなじみのこちらのマーク、持続可能な開発目標 SDGs になります。

こちらは、開発途上国だけではなく、私たちが住む日本を含む先進国にも掲げられたゴールになります。



SDGsの17のゴールを、ゴール1から順に、

5つのP: 人間(ゴール1-6)、豊かさ(ゴール7-12)、地球(ゴール13-15)、平和(ゴール16)、パートナーシップ(ゴール17)に分けることができます。

人間(社会)、豊かさ(経済)、地球(環境)の3つの側面のバランスを取るために、パートナーシップが大切になります。バランスをしっかりと、権利が守られ、差別や争いがなく環境破壊などがなくなり、平和の実現を達成していきます。

SDGsには、誰一人取り残さない世界の実現が掲げられています。

SDGsを達成するためには、一つの国が豊かになるのではなく、技術を伝えたり技術開発も必要になってくるでしょう。

ブロックゲームを通して学んだことを大切にして、持続可能な社会を作っていきましょう。